

発行:(公財)日本フィルハーモニー交響楽団 〒166-0011 東京都杉並区梅里1-6-1 TEL 03-5378-6311 FAX 03-5378-6161

宮城県の4ヶ所。登米町=南三陸、女川と石巻、気仙沼 で弦楽四重奏のプレゼント



4月28日～30日までの3日間、宮城県内の4ヶ所を訪問しました。演奏メンバーはヴァイオリン遠藤直子、豊田早織、ヴィオラ高橋智史、チェロ中務幸彦の4名。この4ヶ所は宮城県内で津波被害の大きかった地域です。

28日は南三陸町から1時間ほど内陸に入った、登米町にある南方の仮設住宅内の集会所でコンサートを行いました。この仮設住宅への訪問は3回目です。今回は、「東北応援! 収納アドバイザー」のグループとコラボレーションの企画となりました。大阪や長野などから9名の収納アドバイザーの資格を持つ主婦のみなさんが終結。「津波ですべてを失った方のモノへの思い入れ。狭い仮設住宅内での収納の方法」など、カウンセリングの知識を背景にしたアドバイスと、笑顔のコミュニケーション力は大変参考になりました。

コンサートの前に、自治会長さんが仮設内をハンドマイクでくまなく案内して回ってくれました。50席を用意した会場はちょうど満席。プログラムはクライスラー「愛の喜び」、エルガー「愛の挨拶」、モーツァルト「アイネ・クライネ・ナハト・ムジーク」1楽章などのクラシックの名曲から、北国の春や青い山脈など、なじみのある日本の歌がたくさん。ハミングする方も。



南三陸の町を見下ろすメンバー

50回目の結婚記念日に「君といつまでも」をプレゼント



この日、ハプニングがふたつ。リハーサル中に音を聞きつけて、「今日が50回目の結婚記念日だから、妻に曲をプレゼントしてほしい」というリクエストに来られた方がおひとり。メンバーはもってきた譜面の中から「君といつまでも」を探し出し、プレゼントすることにしました。演奏途中で、そのご夫妻を紹介し「君といつまでも」の演奏、このハプニングに奥様や友人のみなさんは思わず涙しました。

二つ目のハプニングはあらかじめ用意したもの。お菓子づくりの名人、音楽業界のあるマネージャーのオリジナル手作りの「エロかわいい」クッキーの3点セットを、最後にプレゼントしました。思わず、笑みがこぼれる「おじいちゃん」たち。「おじいさんの仏壇に飾るわ」とうれしそうな「おばあちゃん」たち。ちょっとしたユーモアが心を和ませました。



被災地で初めての試み 「楽器（ヴァイオリン）体験」に笑みがこぼれる。女川と石巻で



宮城県の2日目午前には女川町の野球場の中にある仮設住宅で。この会場は2回目。女川は復興住宅が入居者待ちの状態でした。今回は、ヴァイオリンを2台持参で楽器体験コーナーを行いました。本番30分前に遠藤、豊田の2名が子供やお年寄りを相手に初めてのヴァイオリン体験のほどもを。こぞってやってきた小学生たち、遠慮しながら手にする大人たち、おっかなびっくりしながらも笑顔が溢れます。プログラムは子供向けの曲も入れて約1時間。たっぷり楽しみました。



100名を超す入場で、椅子が足りない……



午後は石巻へ。「こ〜ぷのお家いしのまき」が会場。すぐ近くに大きな仮設住宅があります。ここは高齢者向けのデイサービスを提供している施設なので、昼食をいただきました。ていねいに作られた野菜たっぷり、地元の魚の煮物に一同くつろぎます。今回で3回目。チラシの配布も行われ、100人を越す人が押しかけて、建物中の全部の椅子を運びこむ盛況ぶりでした。ここでも楽器体験に加え、指揮者体験もプログラムに組み込んでおこないました。興味深々で手を上げる人が多数。参加コーナーが

